

教義と聖約20章にある バプテスマと聖餐に関する教え

課題1：バプテスマを受ける資格

教義と聖約20：37を読み、バプテスマを受ける資格を得るためにしなければならないことを見つけてください。

理解できない言葉は、必要に応じて、定義を調べてください。その後、バプテスマの資格を下のスペースに書きます。そのうちの幾つかは、自分の言葉で書いてください。

-
-
-
- これらの必要条件から、主と、主が自分に望んでおられることについて、どのようなことが分かりますか。
 - バプテスマを受けた後でも、これらの必要条件を覚えておくと、どのように役に立つのでしょうか。

37節に挙げられている必要条件の中から二つか三つ選んでください。これらの必要条件を満たそうと絶えず努力すると、天の御父とイエス・キリストのようになるためにどのような助けとなるか、話し合います。

課題2：バプテスマを受けた後の必要条件

教義と聖約20：68-69を読み、主がわたしたちに、バプテスマを受けた後に期待しておられることを見つけてください。

- バプテスマを受けた後、自分がふさわしい者であることを主に示す方法について、69節からどのようなことが分かれますか。

69節の「信仰深い歩みと会話」という言葉に印を付けるといいかもしれません。人は、神と調和の取れた行い、態度、会話によって「信仰深い歩みと会話」を示すことができます。

- バプテスマを受けた後、「信仰深い歩みと会話」を示すよう主が御自分の教会の会員に望んでおられるのは、なぜだと思いますか。

生活の中で「信仰深い歩みと会話」を示す具体的な方法を3つ以上挙げて話し合います。また、自分の生活の中でそのような歩みと会話を示そうとした例について話し合ってもよいでしょう。

課題3：聖餐を受ける

教義と聖約20：75を読み、聖餐の儀式に関する主の教えを調べてください。

- 主はなぜ、毎週集まって聖餐を受けることをわたしたちに望んでおられるのだと思いますか。

77節と79節には、聖餐を執行する際にささげるよう、主が神権者に指示された祈りが載っています。わたしたちは聖餐の儀式を通して、バプテスマと確認を受けたときに交わした聖約を新たにします。日々聖約を守って悔い改める努力をすれば、バプテスマを通して経験したのと同じ清めと祝福を経験することができるのです。

教義と聖約20：77と79節を読み、聖餐を受けるときに、わたしたちは何を約束し、主は何を約束してくださるのかを調べてください。自分の聖典でこれらの約束に印を付けてもいいでしょう。

- 進んでイエス・キリストの御名を受ける意志があることを、わたしたちはどのようにして示すことができるでしょうか。
- 救い主を覚えていることを救い主に示すことができる方法には、どのようなものがあるでしょうか。

聖餐の儀式のどのようなところから、救い主がわたしたちを愛し、慈しんでくださっていることが分かりますか。